

1 題材名 「アイダ」の魅力味わおう

2 題材の目標

- 声の音色，旋律，曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。
(音楽への関心・意欲・態度)
- 声の音色，旋律，曲想とのかかわりを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，解釈したり価値を考えたりして，音楽のよさ美しさやを味わって聴く。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は，中学校学習指導要領解説音楽編，(以下，解説という。)第2学年及び第3学年の内容，B鑑賞(1)ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わうこと。」を受けた内容である。音楽のよさや美しさを味わうとは，「その音楽の内容を価値あるものとして自らの感性によって確認する主体的な行為のことである。このような活動を積み重ねることにより，音楽に対する感性が一層洗練され，自分にとっての音楽の意味を見いだしていくことにつながっていく。」と解説に述べられている。以上のことから味わって聴くためには，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する力と，自分なりに根拠をもって批評する力を育成することが大切であると考える。

「アイダ」は重唱の場面を多く取り入れているオペラで，この重唱によって次々とドラマと登場人物の心理描写が展開していくという特徴がある。指導に当たっては，一人一人が自分なりに感じ取った楽曲のよさや特徴を他者とのやりとりにより，共感したり，再認識したりすることで，自己の感じ方をより確かなものとし，根拠をもって紹介文を活動を通して，音楽のよさや美しさを味わっていけるようにしたいと考え，本題材を設定した。

(2) 生徒の実態 (取手市立戸頭中学校 第2学年*組 *人調べ)

第1学年で行った「魔王」の鑑賞の授業において，生徒のワークシートの記述から分析すると，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取ることができていない生徒が多いことが分かった。これらの生徒は，鑑賞した楽曲が，どのような音楽的特徴であるのかを捉えることができず，自分なりに感じ取ったことや解釈したことを，客観的に説明することができなかつたのではないかと考える。その結果，交流の場を設けても，十分に他者に伝えられなかつたのではないかと考える。これを踏まえ，「アイダ」の鑑賞活動において，協働的な学習の工夫を行い，他者とかかわりながら，音楽のよさや美しさを味わって聴く力を育成していく。

(3) 指導観

本題材では，「アイダ」の鑑賞活動において，協働的な学習の工夫を行い，他者とかかわりながら，音楽のよさや美しさを味わって聴く力を育成していく。具体的には，「つかむ・広げる段階」と「深める段階」の二つの段階で構成していく。「つかむ・広げる段階」では，自分なりの聴き方で楽曲をつかみ，他者とかかわりの中で，聴き方の解釈を広げ，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解していく。そして，「深める段階」では，他者の感じ方や解釈も参考にしながら音楽を聴き，自分の価値意識を再認識し，根拠をもって紹介文を書くことができるようにする。

以上のような協働的な学習の工夫を行うことで，生徒が，自分の価値意識を再認識

し、音楽の味わいをより一層深めていけるようにする。このような活動を通して、音楽のよさや美しさを味わって聴く力が身につくと考える。

4 教材

オペラ「アイダ」から第1幕第1場「可愛い娘よ こちらへ」、「勝ちて 帰れ！」
 ジュゼッペ・ヴェルディ 作曲

5 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
①声やオーケストラの音色，旋律，曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。	①音楽を形づくっている要素（音色，旋律，曲想など）を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②解釈したり価値を考えたりしながら，根拠をもって紹介文に書き，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

6 学習計画及び評価計画（3時間扱い）

時	学習目標と主な学習活動（○は目標，・は学習活動）	評価規準
1	○声やオーケストラの音色，旋律，曲想とのかかわりに関心をもつとともに，オペラ「アイダ」を知り，主体的に鑑賞する。 ・アイダの作曲者やあらすじ，総合芸術を知る。 ・アイダの登場人物の人間関係を把握する。	ア－①
2	○登場人物の性格や心情が，歌い方，リズム，声の音色，旋律などの音楽的要素によって，表現の仕方にどのような違いがあるのかを知り，言葉で表現している。 ・アイダを鑑賞する。第1幕 第1場「可愛い娘よ こちらへ」，「勝ちて 帰れ！」 ・声などの特徴を感じ取り，〔共通事項〕とかかわらせながら自分なりに解釈して聴く。 ・自分なりの感じ方を友達に伝える。	エ－①
3	○オペラを鑑賞しながら，自分なりに感じ取った音楽のよさや美しさを，根拠をもって紹介文に書く。 ・登場人物の心情や声種の関係，聞き取ったことや感じたことなどを紹介文にまとめる。	エ－②

7 各時の学習

(1) 第1時

ア 目標

声やオーケストラの音色，旋律，曲想とのかかわりに関心をもつとともに，オペラ「アイダ」を知り，主体的に鑑賞する。

イ 準備・資料

魔王DVD, アイダDVD, ワークシート, パワーポイント, プロジェクター

ウ 学習の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 (◎評価)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="245 696 699 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>オペラ「アイダ」とは？</p> </div> <p>2 学習計画について知る。</p> <p>3 楽曲について知る。</p> <p>(1) 総合芸術を知る。</p> <p>(2) 「作曲者」について知る。</p> <p>(3) アイダのあらすじや登場人物の人間関係を知る。</p> <div data-bbox="252 1296 678 1420" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の話なかな。 ・恋愛の話かな。 </div> <p>4 本時の学習のまとめをし，次時からの学習の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の既習曲である「魔王」を鑑賞し，声と音楽の関係，場面を想像しながら聴き取ったり感じ取ったりすることで，題材への興味関心を喚起する。 ・題材の流れを生徒に伝えることで，学習に見通しがもてるようする。 ・パワーポイントの資料で楽曲のあらすじやオペラの特徴，作曲者について把握する。 <div data-bbox="858 1005 1241 1131" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>登場人物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイダ ・アムネリス ・ラダメス </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式にすることにより，興味・関心をより一層高める。 ・オペラと歌舞伎の違いを知り，よりオペラへの興味を引き立てる。 ・曲の成り立ち，伴奏形態を知る。 ・声の声部をワークシートに記入していくことにより，オペラでの役割を理解する。 ・書き取れなかった生徒には，机間巡視しながら個別に教科書を使用して支援する。 ・登場人物の人間関係を把握し，声の高さでも役割があることを知る。 <div data-bbox="791 1626 1380 1792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎声やオーケストラの音色，旋律，曲想とのかかわりに関心をもつとともに，オペラ「アイダ」を知り，主体的に鑑賞しようとしている。 (観察・ワークシート)</p> </div>

(2) 第2時

ア 目標

登場人物の性格や心情が、歌い方、リズム、声の音色、旋律などの音楽的要素によって、表現の仕方によどのような違いがあるのかを知り、言葉で表現する。

イ 準備・資料

アイーダDVD, ワークシート, 発表ボード, 色付箋

ウ 学習の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 (◎評価)											
<p>1 本時のめあて確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どんな表現の工夫をしている？</p> </div> <p>2 場面を鑑賞する。 (1) 第1幕, 第1場 「可愛い娘よ こちらへ」を鑑賞する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オペラ「アイーダ」 2年 組 番 名前</p> <p>「可愛い娘よ。こちらへ」 3人が出てくる場面</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 30px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 30px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">青</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">黄</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">緑</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">桃</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">橙</td> </tr> </table> </div> <p>※予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの歌い方は青の付箋を選ばいいのかな？ ・声の出し方は何色の付箋で表したらいいのかな？ 							青	黄	緑	桃	橙	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業内容を復習し、アイーダの世界に入る。 ・色別付箋を使うことで聴き取りの観点を明確化する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【聴き取りの観点を示した色別付箋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青…声の出し方・歌い方 ・黄…声の重なり ・緑…リズム ・ピンク…旋律 ・オレンジ…その他 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・色付箋はいつでも見て確認できるように、掲示しておく。 ・鑑賞するポイントを明確にし、付箋を選びながら、「可愛い娘よ こちらへ」を聴き取る。 ・「可愛い娘よ こちらへ」を聴き、[共通事項]を基に、3人の「声の音色」や「歌い方」「旋律」などの特徴を色付箋を使い聴き分け、ワークシートに貼る。 ・3人が同時に歌っている「可愛い娘よ こちらへ」が聴き取れない生徒には、登場人物の1人に絞って聴く取るよう促す。
青	黄	緑	桃	橙								
<p>(2) 第1幕, 第1場 「勝ちて 帰れ！」を鑑賞する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オペラ「アイーダ」 2年 組 番 名前</p> <p>「勝ちて 帰れ！」 アイーダ 1人が出てくる場面</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 30px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 30px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">青</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">黄</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">緑</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">桃</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">橙</td> </tr> </table> </div> <p>※予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの歌い方は青の付箋を選ばいいのかな？ ・声の出し方は何色の付箋で表したらいいのかな？ 							青	黄	緑	桃	橙	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に、聴き分けた観点を付箋から選び、気がついたことをワークシートに明記するように支援する。 ・それぞれの登場人物が、どのように歌っているか、どのような気持ちになっているか、想像しながら聴き、声や表情から読み取る様に助言する。 ・事前に指定した学習班（グループ）でどんな観点到に気付いて楽曲を聴くことができたかを知る。 ・自分なりに解釈した観点の色付箋を基にして、グループで発表する。
青	黄	緑	桃	橙								
<p>3 聴き取ったことを、グループで交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が貼った付箋のワークシートの活用して、グループ内で交流できるようにする。 ・他者の意見を聴き、自分と同じ意見、自分とは違う聴き方が考あることを知る。 ・可視化したプリントを基に、自分の聴き方の解釈を広げる。 											
<p>4 本時の学習のまとめをし、次時からの学習の確認をする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎歌い方、リズム、声の音色、旋律などの音楽的要素によって表現の仕方に違いがあることを知り、言葉で表現している。 (ワークシート・話し合い活動)</p> </div>											

(3) 第3時

ア 目標

オペラを鑑賞しながら、自分なりに感じ取った音楽のよさや美しさを、根拠をもって紹介文に書く。

イ 準備・資料

アイダDVD, グループ交流のワークシート, 紹介文ワークシート

ウ 学習の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 (◎評価)													
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div data-bbox="244 645 699 728" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">アイダのよさとは？</div> <p>2 グループで交流したものを基に、全体で交流する。 ＜グループ交流のワークシート＞</p> <div data-bbox="244 869 727 1272" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"><table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 15%; text-align: center; border: 2px solid black;">7班</td><td style="font-size: small;">どの『音楽の言葉』を基に、音楽を聴き取ったのかを貼ってこよう。</td></tr><tr><td style="font-size: small;">細かいリズムは焦りを表している。</td><td style="font-size: small;">声の強弱で、気持ちの移り変わりを表している。</td></tr><tr><td style="font-size: small;">弱々しい声は嫉妬を表現している。</td><td style="font-size: small;">自分を責めるときはテンポが速くなる。</td></tr><tr><td style="font-size: small;">弱々しく小さな声は悩みを表している。</td><td></td></tr></table><div style="margin-left: 20px;"><p>付箋</p><table border="1" style="border-collapse: collapse;"><tr><td style="padding: 2px 5px;">歌い方</td></tr><tr><td style="padding: 2px 5px;">リズム</td></tr><tr><td style="padding: 2px 5px;">音色</td></tr><tr><td style="padding: 2px 5px;">旋律</td></tr><tr><td style="padding: 2px 5px;">その他</td></tr></table></div></div> <p>3 再度、「アイダ」を聴く (1) 第1幕, 第1場 「可愛い娘よ こちらへ」を鑑賞する。 (2) 第1幕, 第1場 「勝ちて 帰れ！」を鑑賞する。</p> <p>4 登場人物の心情や声種の関係, 聴き取ったことや感じ取ったことを紹介文にまとめる。</p>	7班	どの『音楽の言葉』を基に、音楽を聴き取ったのかを貼ってこよう。	細かいリズムは焦りを表している。	声の強弱で、気持ちの移り変わりを表している。	弱々しい声は嫉妬を表現している。	自分を責めるときはテンポが速くなる。	弱々しく小さな声は悩みを表している。		歌い方	リズム	音色	旋律	その他	<ul style="list-style-type: none">・前時の授業でどんなことを基にイメージしたかを全員で振り返る。・可視化したグループのワークシートで、自分がどんな聴き取りの観点で聴き取っていたかを把握し、全体で共有する。・他者との感じ方や解釈の違いを交流する。・意見交換によって新たな聴き取りの観点に気付いた場合は、次に聴き取る時に、新たな観点を聴き取るよう働きかける。・他者の意見を聴き、もう一同、自分の感想を振り返りながら、聴き返す。・他者の感じ方を基に、再度「アイダ」を聴き取ることにより、鑑賞への深まりをもたせる。・新たな観点が気になった生徒には、意識して聴くように助言する。・聴き取りの観点のポイントを絞ることで、根拠をもって音楽を捉えることができるようにする。・聴き取りの観点が見いだせない生徒には、一番わかりやすい観点を提示し、聴き取れるよう支援する。・観点の相違や、他者の感じ方や解釈に気がつけるように支援する。・これまで学習して聴いたことを踏まえて、紹介文を書くよう助言する。・自分の思いを大切にできるよう、また、特に気に入った所、知らせたい所などを中心に紹介文を書くよう助言する。 <div data-bbox="804 1839 1342 1960" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>◎感じ取った音楽のよさや美しさを、根拠をもって紹介文に書いている。 (紹介文・ワークシート 観察)</p></div>
7班	どの『音楽の言葉』を基に、音楽を聴き取ったのかを貼ってこよう。													
細かいリズムは焦りを表している。	声の強弱で、気持ちの移り変わりを表している。													
弱々しい声は嫉妬を表現している。	自分を責めるときはテンポが速くなる。													
弱々しく小さな声は悩みを表している。														
歌い方														
リズム														
音色														
旋律														
その他														